

# 人 間 の 福 祉 (立正大学社会福祉学部紀要)

## 既刊号目次

### 第 7 号 (2000年2月発行)

前田大作先生略年譜

前田大作先生主要業績

Changing Care Models of the Elderly in Japan

—How the Incoming Public LTC Insurance Will Reverse the Role of Family—

..... Daisaku Maeda ..... 1

人生福祉学の構想 (その8)

—人間福祉の協力状況—..... 杉 本 一 義 ..... 23

社会福祉施設史研究の枠組み—研究ノート—I ..... 小笠原 祐 次 ..... 57

わが国の障害児教育の発展過程

—明治時代前半期の盲・啞教育を通して—..... 黒 澤 雄三郎 ..... 67

「色覚異常」問題の社会史 ..... 溝 口 元 ..... 87

「社会福祉教育の構造」の研究(2)

..... 深 谷 美 枝・井 上 浩・原 久美子 ..... 101

少年法の現状と課題 ..... 鷺 尾 祐喜義 ..... 115

保育所保育指針の改訂をめぐる社会的背景に関する一考察 ..... 朽 尾 勲 ..... 127

保育園児のあそびの成就と保育者との関わりについての一考察

..... 原 田 壽 子 ..... 145

ミュージックベルによる音楽あそび

—「ちょうちょう」の実践—..... 田 中 英 夫 ..... 157

中国、天台山・普陀山への訪問 ..... 三 友 量 順 ..... 173

### 第 8 号 (2000年9月発行)

福祉心理学の方法的態度 ..... 矢 澤 圭 介 ..... 1

学校週五日制における障害者支援

—養護学校児童・生徒支援の取組み—..... 黒 澤 雄三郎 ..... 17

東京都心身障害児全員就学の検証 ..... 武 内 二三雄 ..... 33

脳性麻痺者のスピーチセラピーに関する技法 ..... 堤 賢 ..... 57

幼児期の人権教育におけるコミュニケーションの作用

—幼児の生活世界におけるコミュニケーションの生成—..... 爾 寛 明 ..... 71

公的年金制度の現状と改革：ILOの政策方針 (要約の翻訳) ..... 渡 部 記 安 ..... 79

## 第 9 号 (2001年 2 月発行)

戦後社会福祉史研究ノート—その 2—	田 代 国次郎	1
養護老人ホーム・報恩積善会の創設と展開		
.....小笠原 祐次・下山 陽子・土岐 知子		27
近代日蓮宗の社会教化事業	清 水 海 隆	53
保育システムとしての在宅保育サービスのあり方に関する研究	朽 尾 勲	67
少年非行と報道の自由	鷲 尾 祐喜義	83
わが国の知的障害児教育の始まり		
—明治時代を中心に考察—	黒 澤 雄三郎	99
在日外国人と国際コミュニティについての一考察		
—日本人ボランティアと外国人—	原 田 壽 子	119
瀬戸大橋の開通に伴う香川県の社会経済的影響(1)—「本四架橋」		
の地域経済に及ぼす影響に関する実証的研究	田 口 正 己	141
401 (k) プランの実態		
—米国確定拠出型企業年金制度の実態分析と日本への教訓—	渡 部 記 安	167
〔報告〕『敦煌・ウルムチ・カシュガルへ (仏教文化の旅から)』	三 友 量 順	191
〔報告〕 ロンドンにおける音楽療法の研修報告	嶋 崎 晶 子	207

## 第 10 号 (2001年 9 月発行)

沖縄・読谷村における福祉コミュニティの形成	稲 葉 一 洋	1
学校現場の抱える問題と教員サポート・システム		
—スクールカウンセリングとスクールソーシャルワーク—	村 尾 泰 弘	25
コミュニケーションによる人間関係形成		
—幼稚園における外国籍児の友達関係の形成事例より—	爾 寛 明	37
人間の心とストレス	堤 賢	49
東京都心身障害児全員就学と教育実践	武 内 二三雄	59
学校週五日制における障害者支援Part II		
—ボランティア活動の実践報告—	黒 澤 雄三郎	83
瀬戸大橋の開通に伴う香川県の社会経済的影響(2)—「本四架橋」		
の地域経済に及ぼす影響に関する実証的研究	田 口 正 己	99
ジョンズ・ホプキンス大学病院におけるパストラル・ケア・サー		
ビスについて	溝 口 元	121
〔調査報告〕「ワット スアンプルー学校」訪問記		
—タイ、幼児教育の現場から—	田 中 英 夫	137

## 第 11 号 (2002年 2 月発行)

堤賢教授年譜

堤賢教授業績目録

言語障害臨床のTM理論と実践

—TM理論に基づいた吃音のスピーチリハビリテーション—	堤 賢	1
大乘仏教における福祉思想	清水海隆	47
大正期における障害児教育とその背景		
—大正デモクラシー期を中心に考察—	黒澤雄三郎	61
本学における「社会福祉実習」の現状と課題		
—実習教育充実化に向けて—	原久美子	83
ノードフ・ロビンズ音楽療法についての一考察	嶋崎晶子	93
乳児期における対人認知プロセス		
—子どもと保護者と保育者の三者関係の生成—	爾寛明	113
21世紀の年金政策		
—ILOの示唆するもの—	渡部記安	121
AARP公私年金政策 (翻訳)	渡部記安	135
Bioethical Aspects of Gender Identity Disorder in Japan	Hazime MIZOGUCHI	153
	(溝口元)	
「ごみ紛争」の社会学的研究—		
千葉県のごみ問題と「ごみ紛争」	田口正己	159
『招提 (チャートゥ・ディサ)』万人への愛情		
〔鑑真の渡航と故郷—仏教文化の視点から〕	三友量順	183

## 第 12 号 (2002年 9 月発行)

農山村住民の「福祉意識」の現状とその変革戦略

—痴呆性高齢者向けグループホームCの立地集落の事例		
調査—	山名敦子・栗田明良 原久美子・松本栄二	1
保健・医療領域におけるソーシャルワーク「業務」の分類		
—「医療ソーシャルワーカー業務指針」再検討にむけて—	高山恵理子	31
児童養護施設の現状と課題		
—児童虐待防止法施行後の実態調査から—	大竹智	41
米国の年金制度改革動向	渡部記安	51
学生が関心を有する福祉領域		
—講義「研究法の基礎」の反省として—	山口雅功	93

## 第 13 号 (2003年 3 月発行)

水族館における動物介在療法

—障害児・者と水生生物—	溝口元	1
--------------	-----	---

## 戦後の障害児教育の推移

一知的障害児教育を中心に考察—	黒澤雄三郎	13
少年非行と家庭	鷺尾祐喜義	35
フレーベルにおける「遊び」の原理的考察	宮田まり子	49
身体障害学生との大学内交流における社会福祉専攻学生の自己効力予期	仲山佳秀	71
健康に対する意識に関する研究		
一英国人と日本人について—	原田壽子	79
子どもの「生きる力」と造形活動	米野苑子	97
北海道と東北地方の「ごみ紛争」一事例と実態	田口正己	109
雲南省、麗江・大理訪問レポート（仏教文化の視点から）	三友量順	149

## 第 14 号（2003年 9 月発行）

### 社会福祉学部学生生活調査等に見る学生像—1

地域福祉におけるきょうされん運動の展望と課題	武内二三雄・石井富美子・嶋崎晶子・原久美子	1
一「さつき福祉会関係諸施設利用世帯の障害に関わる経費等の実態調査」から—	高木博史	25
貧困、差異、アンペイド・ワーク		
一脱工業化・グローバル化社会における貧困と公的扶助の再検討—	金子充	39

## 第 15 号（2004年 3 月発行）

富山和子先生への頌辞に代えて	三友量順	
富山和子先生年譜・業績		
我が研究の軌跡	富山和子	1
武内二三雄先生の御退職によせて	仲山佳秀	
武内二三雄先生年譜・業績		
学生委員会の活動を振り返る		
一新入生キャンプの企画・運営について—	武内二三雄	57
嶋崎晶子教授のご退職にあたって	矢澤圭介	
嶋崎晶子先生年譜・業績		
ノードフ・ロビンス音楽療法についての一考察		
一実践編—	嶋崎晶子	83
保育所における道徳性の芽生えに関する研究	朽尾勲	117
ごみ問題の現状とごみ行政の政策課題		
一環境政策としての「循環型社会」形成—	田口正己	133
少年非行と改正少年法	鷺尾祐喜義	159

学校給食に関する一考察 —教育と福祉の関連から—	山 本 信 良	171
社会福祉学科教職課程の現況 (Part 1) —教職課程取得希望者の調査と考察—	黒 澤 雄三郎	189
マターナル・アフェクション (母性的愛) とパターナル・アフェク ション (父性的愛) —福祉社会における愛情〔プロジェクト研究 テーマの提案をかねて〕—	三 友 量 順	205
日蓮宗における戦後仏教福祉活動の動向	清 水 海 隆	221

## 第 16 号 (2004年 9 月発行)

ごみ問題の現状とごみ行政の政策課題 —環境政策としての「循環型社会」形成(2)—	田 口 正 己	1
日蓮系臨終行儀思想の系譜について	清 水 海 隆	37
高齢者・障害者等に対する自治体の移動円滑化取組み状況 —交通バリアフリー法制定後にみる—	山 口 雅 功	51
多文化社会における福祉のポリティクス	金 子 充	65
精神分析的視点によるブリーフセラピーについて —モルノス (Molnos, A., 1995) の理論と実践を中心に—	村 尾 泰 弘	77
研究ノート 03年改正児童福祉法の意義と課題	森 望	103

## 第 17 号 (2005年 3 月発行)

黒澤雄三郎先生の御退職によせて	清 水 海 隆	
黒澤雄三郎先生年譜・業績		
社会福祉学科教職課程の現況 (Part2) —養護学校教諭免許取得者の調査と考察—	黒 澤 雄三郎	1
米野苑子先生のご退職によせて	石 井 富美子	
米野苑子先生年譜・業績		
昭和初期・保育誌から見た保育内容と絵画・製作	米 野 苑 子	25
大規模「国家プロジェクト」の構想と現実—「東京湾横断道路」 建設と「常磐新線」建設計画に関する研究序説—	田 口 正 己	51
ロックフェラー財団における公衆衛生研究助成	溝 口 元・高山晴子	91
改正少年法の現状と課題	鷺 尾 祐喜義	109
混迷する日本の教育改革と「学び」の創造に根ざした教育実践の 展開について	大 平 滋	123
男女共同参画社会と性的役割分業 —男性と女性、ともに仕事も子育ても—	原 田 壽 子	139
ソーシャルワーク教育における批判的思考の可能性	原 久美子	163

ベトナム文化調査 大乘仏教文化圏としてのベトナム 〔仏教文化の視点から〕……………	三 友 量 順……………	177
--	--------------	-----

## 第 18 号 (2005年 9 月発行)

認知症高齢者向けグループホームにみる介護ソーシャルワーク が目指すコミュニティ構築の位置づけ —老いの価値を再検討するなかで—……………	山名敦子・松本栄二……………	1
「中央議会（国会）議員年金制度改革」への具体的指針 —調査会答申批判—……………	渡 部 記 安……………	23
「国会議員年金制度」の世界的動向と改革指針……………	渡 部 記 安……………	43
The Recommendation by the Joint Research Committee of the Houses of Japanese Parliament for Reforming the Japanese Parliamentary Pension System……………	Noriyasu Watanabe……………	51
教育と福祉国家論……………	山 本 信 良……………	63
大規模「国家プロジェクト」の構想と現実—「東京湾横断道路」 建設と「常磐新線」建設計画に関する研究序説(2)—……………	田 口 正 己……………	77

## 第 19 号 (2006年 3 月発行)

田代国次郎教授のご退職にあたり……………	山 口 雅 功	
田代国次郎先生年譜・業績		
山本信良先生のご退職によせて……………	石 井 富美子	
山本信良先生年譜・業績		
学校と試験—「そのⅠ」……………	山 本 信 良……………	1
乳児の移動動作の習得過程に関する研究……………	原 田 壽 子……………	9
ロックフェラー財団と公衆衛生院の設立……………	溝 口 元……………	25
生きる力へ誘う保育士の援助のスタンダード化の実践研究 「排泄篇」……………	迫 田 圭 子……………	39
「常磐新線」建設と沿線開発の構想と現実 —大規模「国家プロジェクト」事例研究(1)—……………	田 口 正 己……………	63
社会福祉実習の事後学習における問題基盤型学習 (Problem-Based Learning)……………	原 久美子……………	95
研究ノート <なまけもの>の豊かな生を約束する —自由と連帯の福祉構想—……………	金 子 充……………	113
ベトナム文化調査 ベトナム、フエ訪問レポート 〔仏教文化の視点から〕……………	三 友 量 順……………	125

## 第 20 号 (2006年 9 月発行)

「常磐新線」建設と沿線開発の構想と現実

一大規模「国家プロジェクト」事例研究(2)……………	田 口 正 己……………	1
ハンドベルのためのタイ王国の歌……………	田 中 英 夫……………	73
黒木利克『Welfare from U.S.A.』を読む (上)……………	蟻 塚 昌 克……………	81
生きる力へ誘う保育士の援助のスタンダード化の実践研究 「衣服の着脱篇」……………	迫 田 圭 子……………	91

## 第 21 号 (2007年 3 月発行)

黒木利克『Welfare from U.S.A.』を読む (中)……………	蟻 塚 昌 克……………	1
環境対策としての『エコタウン事業』に関する研究 —「循環型社会」と「資源循環社会」をめぐる—……………	田 口 正 己……………	11
福祉社会と感性 —仏教文化と福祉の視点から—……………	三 友 量 順……………	53
低年齢非行と少年法改正……………	鷺 尾 祐喜義……………	67
健康福祉からみた健康寿命の意義 —個を育てる社会の構築—……………	原 田 壽 子……………	81
精神保健福祉士養成校における精神保健福祉士養成の課題……………	原 久美子……………	95
医療ソーシャルワーカーの専門的力量に関する考察 ～同一事例の検討による若手とベテランの共通点と相違点～……………	保正友子・横山豊治……………	111
Teaching English to Per-school Children: Programs for Student Teachers ……………	Anne-Marie Walker Fujimoto……………	125

## 第 22 号 (2008年 3 月発行)

田口正己先生のご退職によせて……………	矢 澤 圭 介……………	
田口正己先生略年譜・主要記録……………		
何と向き合い、何を研究してきたか—研究生活を回顧する……………	田 口 正 己……………	1
ヒトゲノム研究と生命倫理—福祉関連事項を中心に—……………	溝 口 元……………	33
佛教文化の視点から見た民話—ジャータカと遠野物語—……………	三 友 量 順……………	45
被害者支援の観点から見た非行臨床……………	村 尾 泰 弘……………	61
子どもの学習と保育者—子どもインタラクシオン……………	矢 澤 圭 介……………	71
第二次改正少年法の現状と課題……………	鷺 尾 祐喜義……………	91
The Pension Governance in the World —Promoting Compliance in Social Security Pensions—……………	Noriyasu Watanabe……………	107

生活保護制度改革と自立支援の諸論点	金子 充	123
障害児教育から「目指す子ども像」を考える	堺 正 一	143
社会福祉専門職教育の初年次教育と問題基盤型学習	森 田 久美子	157
経験年数の違いとソーシャルワーカーの援助視点の異同に関する考察 —医療ソーシャルワーカーへの紙面による事例検討に基づいて—	保正友子・横山豊治	173
秩父の祭りにおける屋台囃子保存会の機能的分析	浅 賀 ひろみ	189
ソーシャルワーク実践において「クライアントから学ぶ」こと	福 富 律	197

## 第 23 号 (2009年 3 月発行)

原田壽子先生のご退職によせて	石 井 富美子	
原田壽子先生略年譜・主要記録		
乳幼児のこころとからだの健康を考える	原 田 壽 子	1
原著論文		
高校福祉科卒業生のキャリア自己概念 ～現在の職業と卒業年度コーホート別の傾向～	保 正 友 子	19
生死観か死生観か —普遍思想の視点から—	三 友 量 順	31
報告		
「塙保己一賞」の創設と障害者社会参加推進	堺 正 一	45
野口英世の人生と医科学と日米社会 —ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へKAKENHI—	溝 口 元	57
構成障害の発現機序の問題 ——外的支えの効果の発達の變動から（予備的検討）——	仲 山 佳 秀	73
研究ノート		
21世紀社会福祉パラダイムを志向して —社会福祉の遺産と展望—	田 澤 あけみ	83

## 第 24 号 (2010年 3 月発行)

鷺尾祐喜義先生の退職によせて	山 口 雅 功	
鷺尾祐喜義先生略年譜・主要記録		
改正少年法の課題と展望	鷺 尾 祐喜義	1
國光登志子教授のご退任によせて	蟻 塚 昌 克	
國光登志子先生略年譜・主要記録		



## 原著論文

韓国のホスピス・緩和ケア病棟における医療と福祉……………	溝 口 元……………	13
福祉モデルの変容とアジェンダ		
—イギリス「社会福祉のモダニゼーション」にみる福祉改革の 意図とソーシャルワークの行方—……………	田 澤 あけみ……………	27
世界に開かれた仏教社会福祉		
—海外仏教社会福祉—……………	三 友 量 順……………	47
地域福祉における住民の位置と役割		
—連続と不連続の視点から—……………	稲 葉 一 洋……………	61

## 第 25 号 (2011年 3 月発行)

## 原著論文

社会保障制度の担い手としての精神障害者家族		
—精神病患者監護法を中心に—……………	風 間 朋 子……………	1
幼児・児童の健康づくりシステムの構築		
—すこやかキッズカードの作成と評価の検討— ……………	長谷川大・木村千枝・有木信子・松尾瑞穂・奥富庸一・前橋 明……………	15

## 報告

IT機器による障害者支援の一側面……………	溝 口 元……………	27
心的回転課題の成績に対する回転方向の効果		
——構成行為における心的操作の観点から——……………	仲 山 佳 秀……………	39
デンマーク海外福祉研修 (2010年)・引率者から見た高福祉国家……………	三 友 量 順……………	53